

2022 年 3 月 10 日～2022 年 3 月 31 日の間に岡山大学病院 集中治療室に従事していた医師・看護師の方へ

—「集中治療室における病棟薬剤師業務の評価に関する研究」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 前田 嘉信
研究責任者 岡山大学病院 薬剤部 教授 座間味 義人

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

岡山大学病院薬剤部では 2012 年から集中治療室に専任担当性として病棟薬剤師を配置し、2014 年から病棟薬剤師業務実施加算 1 を、2016 年からは病棟薬剤師業務実施加算 2 の算定を開始しています。2020 年に日本集中治療医学会から集中治療室における薬剤師業務の標準化を推進するために「集中治療室における薬剤師の活動指針」が公表されたことに伴い、当部において本指針を参考に病棟薬剤師業務の見直しや拡充を行なってきました。しかしながら標準化できているかの評価は行えていませんでした。

そこで本研究では、これまでに行なったアンケート調査について顧客満足度分析を用いて解析を行うことで、多職種に求められる標準化された病棟業務の改善に寄与することを目的とします。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

本研究の遂行により、集中治療室における病棟薬剤師業務の具体的な改善点を見出して医師・看護師から求められる業務を明確にすることで、病棟業務の改善に貢献できると考えられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2022 年 3 月 10 日～2022 年 3 月 31 日の間に岡山大学病院集中治療室において従事していた医師・看護師の方、222 名を研究対象とします。

2) 研究期間

研究機関の長の許可日～2025 年 12 月 31 日

情報の利用または提供開始予定日：研究機関の長の許可日から 1 週間後

3) 研究方法

2022 年 3 月 10 日～2022 年 3 月 31 日の間に、岡山大学病院集中治療室において従事していた医師・看護師の方に対して行ったアンケート調査のデータを使用し、顧客満足度分析および因子分析などを用いて集中治療室における病棟薬剤師業務の満足度を調査します。

4) 使用する情報

職種・所属部署

- ・医師（救命救急科、麻酔科、心臓血管外科、循環器内科、NICU）
- ・看護師（EICU、総 4 ICU/CCU ICU 担当、総 4 ICU/CCU CCU 担当、東 3/ICU/CCU、NICU）

職種免許を取得してからの経験年数

・2年未満、2年以上～5年未満、5年以上～10年未満、10年以上～20年未満、20年以上

現在の病棟で業務されている勤務年数

・2年未満、2年以上～5年未満、5年以上～10年未満、10年以上～20年未満、20年以上

病棟薬剤師業務に関する以下項目の【満足度】について

- ・回診、カンファレンスへの参加
- ・薬物療法の円滑な情報共有
- ・多職種連携や協調性
- ・当該病棟での薬剤師の滞在時間
- ・医薬品に関する相談のしやすさや最新情報の提供
- ・薬剤早見表の提供（TDM一覧表や配合変化表などのまとめ資料）
- ・ICUで使用する薬剤に関するスタッフへの教育や勉強会
- ・薬物療法のプロトコルやクリニカルパスの作成
- ・術前中止薬または術後再開薬の確認
- ・ICU入室時の持参薬確認や継続投与の妥当性の評価
- ・処方薬の適応、用法、用量、相互作用の確認
- ・薬物療法の効果や副作用のモニタリング
- ・患者への服薬指導
- ・薬物動態や病態の変化を考慮した処方提案
- ・状態や薬剤に応じた投与経路（内用・外用・注射等）の提案
- ・注射薬に関して、薬効や配合変化、投与速度を考慮した投与ルート of 提案
- ・TDM対象薬剤（バンコマイシンなど）の投与計画の立案と提案
- ・痛みを緩和するための処方提案
- ・不穏やせん妄に関連する薬物療法への貢献
- ・栄養状態の維持、改善への貢献
- ・費用対効果を考慮した薬剤選択の提案
- ・薬物療法の提案、TDM、副作用への対応などに関する診療録への記載
- ・抗菌薬適正使用の推進、耐性菌発現抑制への貢献
- ・定数配置薬やハイリスク薬の管理
- ・薬剤の使用手順に関する問題の相談や提案
- ・必要薬剤の迅速な調達
- ・ICUにおける臨床研究への参画
- ・注射薬の無菌調製
- ・総合的に

総合満足度回答の理由

病棟薬剤師に関する、感想・意見・要望

5) 外部への情報の提供・共同利用の方法

この研究に使用する情報は、以下の共同研究機関にクラウドストレージを用いて提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

兵庫医科大学 宮本 朋佳

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院薬剤部試験研究室内および共同研究機関で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュ

ーターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院 薬剤部

氏名：大川 恭昌

(E-mail：pfwy9q3b@okayama-u.ac.jp)

電話：086-235-7654

<研究組織>

主管機関名 岡山大学病院

研究代表者 岡山大学病院 薬剤部 座間味 義人

共同研究機関

兵庫医科大学 薬学部 宮本 朋佳